

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		文化施設管理費 [文化施設管理事業]												
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	事業番号	9						
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)													
担当部署・課長名	社会教育		課		郷土博物館		係	課長名	高田匡章					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 4						
【施策名】 市民文化の振興							総合計画書 (ページ)	41						
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)									
	市民				人口									
	→													
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)									
当市にゆかりの日本画家・吉岡堅二の作品に触れ、芸術作品を身近に感じ、芸術文化の素養を高める。				来園者数										
→														
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)										
旧吉岡家住宅の公開を行い、吉岡堅二の作品展示と各種イベントを開いた。 吉岡堅二に関するグッズを頒布した。 建物の修繕及び日常的な管理を行った。 吉岡堅二現物調査を行った。				春3日間、秋3日間及びその他の公開2回 ポストカード、図録、切手の販売 日常的な管理と、台風被害による蔵の屋根の修繕を行った。 → 吉岡堅二現物調査については、博物館職員と美術大学卒業生(学芸員有資格者)、学生により行った。										
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標						
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標						
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337								
	成果指標	②の数値	人	1,652	1,269	845								
	目 標	②の目標値		1,620	1,260	1,152								
目標値設定の考え方 27年度から30年度までの1日の平均来園者が約192人であることから、31年度は192人×主催開園6日で算出した。														
活動指標		③の数値	日	11	7	8								
3 経費	事業費(実績)		円	3,276,788	3,058,261	4,643,789	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)							
	財源	一般財源	円	2,633,288	3,002,461	4,615,889								
		特定財源	円	643,500	55,800	27,900								
		(うち受益者負担)	円	643,500	55,800	27,900								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5								
		所要人数(再任用)	人											
		職員人件費(再任用以外)	円	4,126,500	4,126,500	4,155,000								
	職員人件費(再任用)	円												
事業費+人件費		円	7,403,288	7,184,761	8,798,789									
4 環境変化等	(1) 開始年度		5 年度											
	(2) 環境の変化 平成5年度から、当市にゆかりの日本画家・吉岡堅二の芸術作品を身近に感じ、芸術文化の素養を高めることを目的に行っている。平成29年5月には、建物が登録有形文化財に登録された。 BS朝日「百年名家」の取材を受け、2年2月16日に放映(再放送は3月22日)され、反響があった。													

事業名称	文化施設管理費 [文化施設管理事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 公開時のアンケートでは公開日数の増加や、これからも大切な文化財として保存してほしいという要望が多い。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：③事業協力（開演前の準備、広報活動、文化財ガイド等）		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 施設整備についての方向性の策定			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 多くの来園者に来ていただくために今後もリピーターを増やし、特に若い世代にも広く知ってもらうことが課題と考えている。さらに、吉岡堅二氏とゆかりのある人物と連携を高め、講演会などのイベントを開催することが重要である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 博物館でも作品展示を同時に開催し、博物館～旧吉岡家住宅のシャトルバスを運行した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 旧吉岡家住宅についての基本方針を策定すること。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 市民文化の振興 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 春・秋の公開は、多くの来園者に来てもらえるように、内容の工夫を図りつつ、文化財ボランティアの協力をいただきながら、継続して実施する。 また、市のイベント行事などと連携を図るなど、来園者増に繋がる事業を検討していく。 建物に残る資料調査については、職員と美術作品調査員の協力をいただきながら、進めていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	公開については、文化財ボランティアの協力体制を継続しながら、公開、展示内容の充実を図る。 建物の資料調査は、引続き、武蔵野美術大学とともに実施する。 今後、旧吉岡家住宅整備方針に向けた検討、常時公開については、現在の郷土博物館運営、組織などの現状を考慮し、関係部署へ職員配置等の要請を行っていきたい。			